

「2021年 文書情報管理関連製品・サービスの市場動向調査」

販売のご案内

2022.2.24

Confidential

MMRI

株式会社MM総研 Moving Mobile & Mobility Forward

はじめに

- MM総研では、この度、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会（理事長：勝丸泰志、以下「JIIMA」と略記）と**レポート販売の代理店契約を締結し**、2021年に同会が実施した『2021年 文書情報管理関連製品・サービスの市場動向調査』を販売開始致しました。
- MM総研では「文書情報マネジメントに関する普及啓発を行い、文書情報の利用者に貢献するとともに関連産業の振興を図る」という同会のミッションに賛同し、本レポートの拡販を通じて、JIIMAによる高度な文書情報管理に関する普及・啓発活動を支援して参ります。
- 本調査では、「オンラインストレージ」・「電子契約SaaS」・「電子請求書SaaS」など文書情報管理に関する製品・サービス・ソリューション計12領域（アナログ領域を含む）を対象にWebアンケート、および主要企業のキーパーソンインタビューを実施しました。その結果をもとに、2019年度から2023年度までの市場規模を算出し、現在の市場環境や参入企業のシェア、今後の事業見通しをまとめております。
- 本レポートのデータに関する著作権はJIIMAに帰属します。データの利活用については、JIIMAにお問い合わせください。
- なお、弊社では、**JIIMAの非会員企業の皆様に対し、本レポートを販売します。** JIIMAの会員企業の皆様におかれましては、直接JIIMAへご連絡ください。

▶ JIIMA会員企業の皆様のご連絡先

公益社団法人日本文書情報マネジメント協会（JIIMA）

所在地：101-0032 東京都千代田区岩本町2-1-3 和光ビル7階

電話番号：03-5821-7351

ホームページ：<https://www.jiima.or.jp>

本レポート案内：<https://www.jiima.or.jp/activity/publishing/>
https://www.jiima.or.jp/houkokusho_dl_entry/（申込ページ）

申込フォーム

- 申込フォームを記載の上、以下のメールアドレスにお送り下さい。

kanou@m2ri.jp（担当：狩野）

貴社名	
ご所属	
申込者のお名前	
購入希望のレポート (チェックしてください)	☐ 2021年 文書情報管理関連製品・サービスの市場動向調査（PDFのみ）…1部5万円（税別） ☐ 2021年 文書情報管理関連製品・サービスの市場動向調査（PDF＋簡易製本版）…1部6万円（税別） ☐ 其他のご相談（詳細）
購入希望部数	部
簡易製本版の郵送先 (簡易製本版希望時のみ)	〒 -
メールアドレス (PDF版)	
電話番号 (緊急時連絡先)	
御請求先の部署名	
御請求先の担当者名	
御請求書の郵送先 (郵送を希望する場合)	〒 -

本レポートの特徴

【本レポートの特徴】

文書情報管理に関する普及・啓発活動を展開するJIIMAが刊行する、最新の業界動向を網羅した調査レポート。

●主な特徴

1. 文書情報管理に関する注目市場を網羅的に掲載。

- 本レポートにおける「文書情報管理」とは、企業・組織が職務上作成・取得したコンテンツを(1)業務効率化、(2)ナレッジ共有、(3)書類量削減、(4)説明責任、(5)リスク管理などを目的として、作成、利用、共有、保管・保存、廃棄など一連のプロセスを組織的にかつ適切に運用することと定義しております。

2. デジタルサービスを含む 12領域の最新動向を掲載。

文書情報管理に関する製品・サービス・ソリューション（計12領域）

- ① 文書情報の入力・作成関連…1. AI-OCR、2. ドキュメント処理ソフト
- ② 文書情報の管理関連…3. 文書管理・ECM、4. 電子帳票システム、5. オンラインストレージ
- ③ 文書情報の流通関連…6. EDI（クラウド型）、7. 電子署名サービス、8. 電子印鑑/電子サイン
- ④ 文書情報の保管・保存関連…9. マイクロフィルム関連、10. データ入力・保管・廃棄関連
- ⑤ 個別業務の文書情報管理関連…11. 電子契約SaaS、12. 電子請求書SaaS

3. リモートワーク普及の影響、電帳法改正、電子インボイス導入など最新トピックの市場への影響を分析。

【本レポートの主な利用シーン】

- 文書情報関連サービスの事業企画に携わっており、戦略立案のためのバックデータが欲しい。
- サービス開発を担当しており、自社の強みを取り入れたサービスメニューを作りたい。
- 自社サービスのポジションを明らかにし、プレゼンに活用したい。

など さまざまな利用シーンに対応。

【調査対象サービス】

■ 文書情報管理に関する製品・サービス・ソリューション（計12領域）

- ① 文書情報の入力・作成関連…1. AI-OCR、2. ドキュメント処理ソフト
- ② 文書情報の管理関連…3. 文書管理・ECM、4. 電子帳票システム、5. オンラインストレージ
- ③ 文書情報の流通関連…6. EDI（クラウド型）、7. 電子署名サービス、8. 電子印鑑/電子サイン
- ④ 文書情報の保管・保存関連…9. マイクロフィルム関連、10. データ入力・保管・廃棄関連
- ⑤ 個別業務の文書情報管理関連…11. 電子契約SaaS、12. 電子請求書SaaS

【2021年度版調査概要】

調査概要

1. Webアンケート（インタビュー仮説の構築のため）

調査対象：該当サービスを導入する企業の担当者のうち、下記の2つを満たす者

— 情報システム等の導入にあたって、決裁や選定に関与する担当者

— 対象とする製品・サービス・ソリューション12領域の導入企業

回答件数：予備調査…8,869社、本調査…1,013社

調査期間：2021年8月

2. キーパーソンインタビュー（市場規模・市場動向の分析のため）

調査対象：国内法人のキーパーソン

回答件数：約30社（JIIMA会員/非会員企業）

調査期間：2021年9月～10月

発 売 日：2022年2月24日

【レポート目次】 …全87ページ

1. 調査概要	3
2. 調査結果	7
(1) 2020年度の文書情報管理関連の市場規模	7
(2) 2021年度以降の見通し	11
(3) 製品・サービス群別の市場動向	16
① 文書情報の入力・作成に関する製品・サービス	16
② 文書情報の管理に関する製品・サービス	17
③ 文書情報の流通に関する製品・サービス	18
④ 文書情報の保管に関する製品・サービス	20
⑤ 個別の業務の文書情報管理に関する製品・サービス	21
3. 個別市場の動向	23
1. A I - O C R	24
2. ドキュメント処理ソフト	30
3. 文書管理・E C M	35
4. 電子帳票システム	41
5. オンラインストレージ	48
6. E D I (クラウド型)	53
7. 電子署名サービス	58
8. 電子印鑑／電子サイン	63
9. マイクロフィルム関連	66
10. データ入力・保管・廃棄	70
11. 電子契約 S a a S	75
12. 電子請求書 S a a S	80

主な調査結果（市場規模）

【主な調査結果】

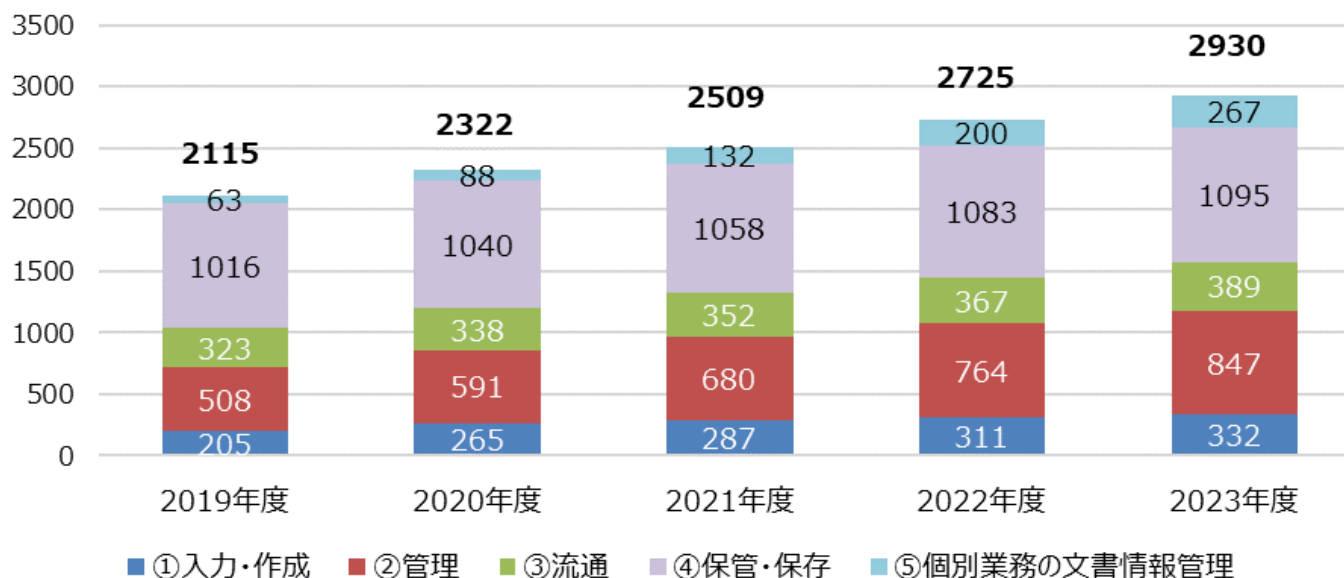
- 2020年度の文書情報管理に関する市場規模は2322億円。2019年度比9.8%増と拡大している。
- 2020年度にはバックオフィス効率化を企図したSaaS（クラウド）型のデジタルサービスの普及の影響。
- 特に重要な要因として「コロナ禍におけるリモートワークの必要性」・「手書き文字の電子化業務の効率化」・「改正電子帳簿保存法への対応」の3つが挙げられる。
- 文書情報管理に関する市場規模は2023年度に3000億円に迫る。
- 現在、文書情報管理の基盤として利用されるサービス群は、文書情報のライフサイクル管理（文書情報の作成、共有、利用、保管・保存、および廃棄の一連の管理業務）が単一サービス内で完結する方向で機能強化が進んでいる。
- 特に「オンラインストレージ」は文書情報の属性を選ばない汎用性の高いサービス特性から、Ⅱ・Ⅲのサービス群とも連携可能で、長期的には包括的な文書情報管理のプラットフォームとして、文書情報管理市場で支配的な地位を得る可能性がある。

主な調査結果（市場規模）

【文書情報管理に関する市場規模・今後5年間の予測】

- 2020年度の文書情報管理に関する市場規模は2322億円。2019年度比9.8%増と拡大している。
- 文書情報管理に関する市場規模は2023年度に3000億円に迫る。

（単位：億円）



主な調査結果（市場概況）

【文書情報管理の基盤として利用されるサービス群を整理した表】

- 現在、文書情報管理の基盤として利用されるサービス群は、文書情報のライフサイクル管理（文書情報の作成、共有、利用、保管・保存、および廃棄の一連の管理業務）が単一サービス内で完結する方向で機能強化が進んでいる。
- 特に「オンラインストレージ」は文書情報の属性を選ばない汎用性の高いサービス特性から、Ⅱ・Ⅲのサービス群とも連携可能で、長期的には包括的な文書情報管理のプラットフォームとして、文書情報管理市場で支配的な地位を得る可能性がある。

		②サービスの主な提案先	
		全社共通部門 (情報システム部)	業務部門
①文書の属性	汎用的・一般的な文書 不確定的な内容も含む文書	(Ⅰ) ・オンラインストレージ	(Ⅱ) ・文書管理・ECM ・ドキュメント処理ソフト（の一部）
	確定的な内容の文書	(Ⅲ) ・文書管理・ECM ・オンラインストレージ	(Ⅳ) ・電子契約SaaS ・電子請求書サービス ・電子帳票システム（の一部）

主な調査結果（「3. 個別市場の動向」について）

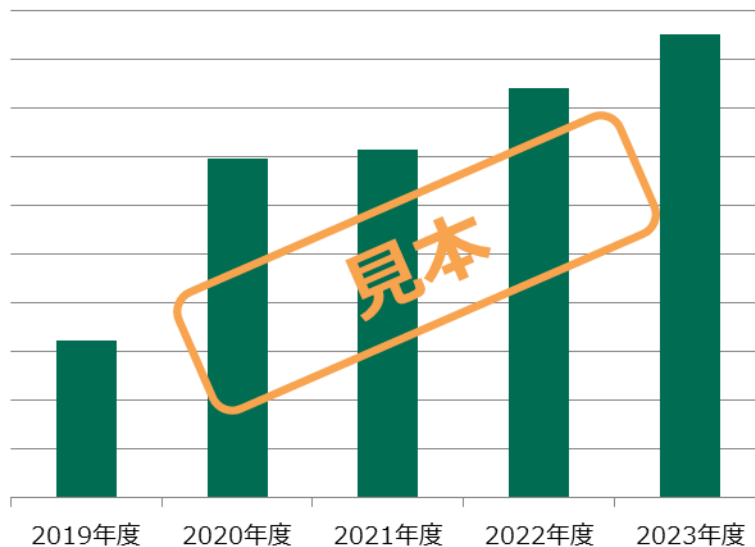
第3節の「個別市場の動向」では、各業界に関する下記の情報を掲載しております。

（「市場規模」・「シェア」については、一部記載していない箇所がございます。）

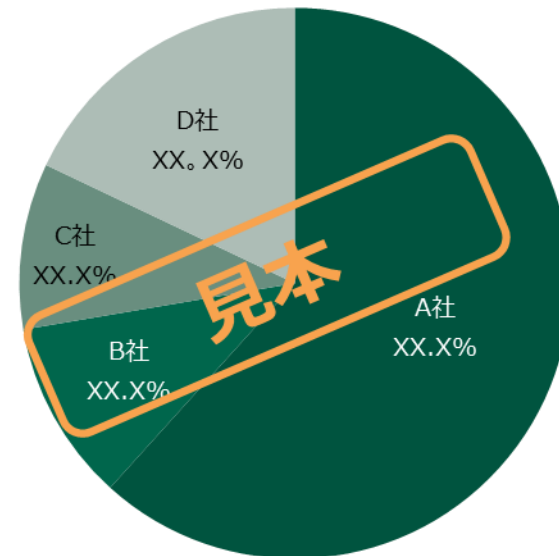
- 対象製品・サービスの定義
- 市場概況
- 市場規模
- 2020年度の主要企業の金額シェア
- 今度の動向

【アウトプットイメージ】

➤ 市場規模



➤ 主要期御の金額シェア



【御見積】

1部 5万円（税別）

- ※ 本レポートはPDF版のみでの納品となります。
- ※ 簡易製本版をご希望の場合には、**1部 6万円（税別）**となります。
- ※ JIIMAの会員企業の皆様は、JIIMAへお問い合わせください。

【お申込み方法】

- 弊社の以下のメールアドレス、もしくは代表電話から、本レポートの購入を希望される旨をお伝え下さい。担当者が対応致します。
問い合わせフォーム：<https://www.m2ri.jp/contact/>
担当者アドレス：kanou@m2ri.jp（担当：狩野）
弊社代表電話：03-5777-0161
- 本レポートの購入を希望される旨を記載の上、以下のメールアドレスにお送り下さい。
kanou@m2ri.jp（担当：狩野）
※ 担当者へメールされる場合には、「申込フォーム」を添付頂けると対応がスムーズです。

【納品について】

- 送付用クラウドストレージは「どこでもキャビネット」となります。ドメイン（@dococab.jp）の迷惑メール振り分け設定を解除してください。
- 納品時期の目安は、購入確定からPDF版は申込日から翌営業日です。
- 納品時期を指定される場合にはご相談下さい。

ご不明な点などがございましたら、お問い合わせください。
よろしくお願い申し上げます。

株式会社MM総研

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-3 芝公園フロントタワー

電話:03-5777-0161 FAX:03-5777-0163

<http://www.m2ri.jp/>

担当：狩野 翼 kanou@m2ri.jp



Moving **M**obile & **M**obility Forward